

## 授業概要

本講座では、中級レベルの商業簿記を講義します。主なテーマは特殊商品売買と固定資産、引当金、純資産、本支店会計、帳簿組織等です。仕訳では、初級簿記を基礎に更に複雑な会計処理を学びます。特に株式会社会計として純資産の構成内容、剰余金・繰越利益剰余金などの会計処理の他、特殊商品販売の未着品取引、委託・受託販売、割賦販売・試用・予約販売などについて学びます。簿記は仕訳ができることが大切です。授業では答案練習が中心になります。学生には積極的に問題解答をしてもらいます。

## 授業計画

|      |                                            |
|------|--------------------------------------------|
| 第1回  | 商業簿記の手続きと財務諸表：簿記一巡、貸借対照表、損益計算書             |
| 第2回  | 現金預金：銀行勘定調整表、預金残高の不一致、有価証券：売買と評価           |
| 第3回  | 手形：自己宛・自己受為替手形、手形の裏書・割引、更改、不渡手形、荷為替手形      |
| 第4回  | 商品売買：売上原価の算定、払出単価の決定、仕入・売上割引・割戻、棚卸減耗、商品評価損 |
| 第5回  | 特殊商品売買（1）：未着品売買、委託販売、受託販売、委託買付、受託買付の会計処理   |
| 第6回  | 特殊商品売買（2）：割賦販売、試用販売、予約販売の会計処理              |
| 第7回  | 第1回 中間試験（60分試験・30分解説）                      |
| 第8回  | 固定資産：取得、修繕と改良、減価償却、売却・除却・廃棄、無形固定資産、投資その他資産 |
| 第9回  | 引当金：貸倒引当金、商品保証引当金、退職給付引当金、売上割戻引当金、修繕引当金    |
| 第10回 | 収益と費用：損益計算書の区分、販売費・一般管理費、営業外費用と営業外収益       |
| 第11回 | 純資産の会計：意義、株式会社設立・開業、増資、剰余金の配当・処分、会社の合併     |
| 第12回 | 第2回 中間試験（60分試験・30分解説）                      |
| 第13回 | 社債：意義、発行、利払計算、期末評価、償還時の処理                  |
| 第14回 | 本支店会計：未達事項の処理、内部利益の除去、本支店合併財務諸表の作成         |
| 第15回 | 帳簿組織：仕訳帳の分割、現金出納帳・当座預金出納長、仕入帳・売上帳、試算表作成    |
| 第16回 | 定期試験                                       |

## 到達目標

中級商業簿記のレベルに到達すること。

## 履修上の注意

本学エクステンションセンターの「日商簿記検定2級講座」を受講すること。

## 予習復習

テキストの「例題」を毎日学習して下さい。

## 評価方法

中間試験 40%、定期試験 60%で評価する。授業態度不良者は「不可」評価とする。

## テキスト

開講時に公表する。

（参考図書）

渡部裕巨、片山寛、北村敬子『検定簿記講義2級商業簿記』（平成27年度版）中央経済社

渡部裕巨、片山寛、北村敬子『検定簿記ワークブック2級商業簿記』（平成27年度版）中央経済社

実教出版企画開発部『平成27年度版 日商簿記検定模擬試験問題集2級』実教出版